

平成16年度(H16.10.1~H17.9.30)年会費納入者一覧(H16.10.1~H17.4.30現在まで)

32回(1名)	齋藤茂美	皆川正男	岡村嘉志	角家孝之	吉田豊祐	増子藤男	兩川弘道	桜井薫	田中昌夫
曾我英彦	齋藤泰五郎	宗村禎三	小川秋実	黒川徹男	65回(14名)	松原伸子	74回(24名)	島健介	野口和子
38回(1名)	坂井保也	村松茂樹	金山常吉	小池健治	阿部正男	森恭也	藍沢幹人	鈴木茂夫	野口俊介
丸山岩三	廣川勲	山口和郎	河田鐵雄	佐藤勝彦	安藤宜清	若井省吾	池一	鈴木隆雄	星野郁夫
40回(1名)	宮原昭三	山城教成	小池健治	佐藤武司	五十嵐徹	渡邊公夫	石井拓男	田中邦直	星野紹英
小山賢市	湯木昭二郎	山田幸輝	小出直	鈴木勉	川合英次	渡辺千艦	石山范	太原まゆみ	正木清貴
41回(1名)	伊藤一雄	山田陸男	小林賢一	曾我健	久保田泰雄	渡辺泰彦	和泉潤	田村俊作	85回(10名)
近泰男	近藤圭二	山中紀行	近藤純夫	高橋健一	渋谷皓	渡部治子	岩城修平	長北学	雨木若慶
42回(1名)	東城真佐男	山本幸正	坂口英一	田子元	鈴木衛士	69回(10名)	上田久則	古川恒一	今井豊重
43回(5名)	55回(5名)	山田豊	杉野剛博	田中毅	半澤貢	青木利祐	江口則男	細谷洋一	小林彰義
滝沢義雄	阿尻威吾	横山信弘	高城英雄	藤原琴子	丸山一敏	阿部好明	大石憲一	三沢健	笹川康雄
徳重茂	新井勝龍	池田成義	徳田浩一	帆苺宏典	村木利夫	岩尾信宏	大滝均	渡辺拓哉	塩田拓哉
本間武	千葉繁治	奥村陽彦	富山和夫	皆川重	山崎耕一	小黒朋弘	大橋秀隆	渡辺雅夫	杉林亨
村山登	中村幹男	片桐欣哉	難波正彦	嶺國和	山本和親	佐藤孝靖	小木恵介	精谷好邦	早福博史
本山信城	村山義夫	片桐啓三	野村保夫	村木隆	横山修二	清水一男	糟谷文隆	加門文隆	森坂和生
44回(3名)	56回(60名)	齋藤茂	早武正博	山崎敬介	吉田治彦	高木敏之	黒井健	黒戸裕	山田尚美
齋藤伸雄	赤坂長弥	大門啓治	廣瀬欽次郎	山本真弓	66回(18名)	樋口正臣	黒木幹雄	北村一雄	86回(5名)
坂井健一	朝比奈和三	橋崎義夫	藤本剛	吉田行	石山芳春	村上則彦	笹川雅之	佐藤茂	齋藤健
錦織登美夫	阿部弘昭	蒔谷秀雄	丸山敏視	渡辺千里	川上肇	川原英夫	佐藤浩	長谷川実	田中利直
46回(3名)	荒井宏	福田満	宮田庄之助	63回(11名)	菊池重治郎	池田好正	高橋保	山田民夫	78回(11名)
小熊幸男	飯島昌彌	細貝実	矢川和偉	浅野康一	木下功	猪口孝	高橋信昭	太田秀樹	広田淳子
下勇	石田智	堀内俊夫	山崎良一	五十嵐信一郎	合田春美	岩城忠之	竹之内明	小野真知子	宮腰重三郎
富所強哉	市川千尋	皆川敦	山本淳夫	石渡利男	佐藤勲	川田昌人	西田百合子	川村和共	吉井正行
47回(3名)	井上菊雄	宗村泰四郎	61回(34名)	市川瑞夫	佐藤智雄	小林繁雄	波多腰明	斎藤庫之丞	清水忠明
朝日翠	今井忠平	村山保	赤堀和郎	金川博	塩谷芳彦	菅原一雄	本間和彦	志藤洋子	田口操
木村和郎	内山二	毛利剛	朝日明	白倉至	田中澄夫	鈴木正俊	75回(30名)	篠田敏朗	田中隆
米持長三	逢坂七郎	本永祐嗣	浅見昭夫	中村道衛	中野武宮	田辺豊	有蘭順子	肥田博子	南正人
48回(1名)	大谷神児	山崎克己	安宅久憲	馬場政説	二宮靖彦	土田進	五十嵐孝	松田元男	渡辺政城
田中利男	大野利夫	山谷皓栄	阿部亜生	村山弘義	丹羽真彦	富岡黎三郎	伊塚文雄	向井美夜子	88回(2名)
49回(13名)	加藤勝則	59回(32名)	安藤友憲	山田恵一	野水宏樹	難波晃	石塚文雄	村田光男	今井信一郎
赤松元敏	金子昌次郎	安宅久朋	大橋恒夫	山田益也	半澤弥弥子	野川晃一	植村由規夫	村田光男	長谷川隆
阿部東	金巻隆	池田正文	金子章	64回(36名)	村上紀光	福島治	枝並一夫	吉澤哲彦	90回(6名)
池田純一	川田幸雄	石山芳昌	川崎榮一	阿部欣司	室由紀子	三國政勝	大塚恵子	小田章治	歌代真人
伊藤甫	北村晴四郎	板井裕	木村政雄	植村斬音	吉田六左エ門	山宮士郎	大野敏雄	野村正史	木村和人
井上正	木村直平	牛木素吉郎	久須美博	江部陽一	67回(14名)	吉川正孝	岡田政文	80回(3名)	斎藤結花
梶山勝清	久慈正彦	梅澤貞雄	小池弘	遠藤治一	一柳肇	渡部美那実	小畑修二	長正子	高橋美和
村山竜一	久保田剛敏	大島洋一	小林元村	大石正晃	大野隆治	71回(10名)	川上滋	斎藤宏史	田辺文
工藤弘安	幸田慶治	大山久	斉藤伸昭	太田健治	片桐靖忠	太田裕	小泉慈行	丹羽宏樹	坪井俊博
仁保武人	小島直孝	岡田久	佐藤敏夫	柄沢茂	片山忠一	大竹純夫	小島孝雄	81回(7名)	95回(1名)
濱博世	小松重男	小熊英夫	杉山由人	川口徹	斉藤久美子	大場菊代	後藤輝雄	荒川洋	橋田篤英
廣川浩一	近藤源也	園城英二	高橋駿	川崎明	佐々木邦夫	柄沢卓	斎藤章二	尾山尚	101回(1名)
広川弘	斉川和平	笠井駈	高橋龍威	桑野光雄	高橋三郎	小飯塚豊	斎藤隆夫	斎藤俊至	今井慶貴
本間俊之	坂井洲二	栗林貞一	竹尾昇	斉木幸彦	高橋信夫	小林昭衛	曾我正男	笹川典男	102回(1名)
50回(10名)	残熊謙一	栗林洋	田中宣	坂井俊一	寺井宏	小林碧	高橋正	佐藤浩秋	池田哲郎
一柳俊夫	塩見戎三	小池和男	田中忠文	坂井敬	西章	松田裕子	田辺武一	白井秀樹	103回(1名)
岩澤信夫	柴垣寛	小城一廣	田村文男	坂内信	前田康久	森田琢夫	野崎茂	鰐淵博	松原有里枝
垣原誠	白勢陽一	茂泉喜彦	時岡泰	嶋岡洵	皆川学	72回(12名)	橋爪博美	82回(9名)	106回(1名)
瀬谷誠	鈴木正安	洪木幸三	長沼雄峰	清水裕子	山田尚男	石田庄	押野嘉雄	押野嘉雄	野本裕史
寺田秀夫	鈴木寧	関野光弘	長橋徳衛	清水良男	吉田一郎	宇田川由美	金子裕一	萬歳信行	107回(1名)
時田勇司	清野誠二	高橋晴夫	中村正春	須田嶺治	68回(25名)	大野博	清田甚	平井和雄	小橋川嘉樹
中村晴信	高見久義	高橋正利	長谷川康一	高橋正幸	安達賢司	金卷裕史	日下部朋子	本間晴久	111回(2名)
藤井義良	田代九郎	高山昇二郎	長谷川耕一	田才邦彦	安達雅巳	斎藤俊正	小亦斉	本間彰	坂内友美
村山一	田巻宏治	長島一郎	長谷部良雄	田辺元彦	阿部美和子	高橋忠	齊藤滋	宮純一	種田純郎
山田英世	照木仁	長橋敏雄	丸山通夫	田伏正樹	江上雅子	高橋祐介	西山活子	八木健	112回(3名)
51回(8名)	永井喜八郎	納谷喜郎	村岡公夫	田巻亮	小野塚芳雄	高橋信行	星野憲昭	山崎信行	安藤透
笠井謙	中川邦司	花井進	村山健	田村康一	上村嶺子	渡部一俊	吉田実	渡部一俊	大坂あゆみ
笠原仰二	中島直彦	藤原幸雄	谷田部信	津野慶浩	小日向信光	76回(23名)	83回(7名)	天野直二	吉田丈夫
北村茂	中村晃	牧泰彦	山田充	中島仁	近藤和久	富田由李	浅間芳朗	岩橋俊朗	以上612名
清野武治	中山昭一	水沢邦弘	62回(28名)	西野貢司	近藤貞雄	細谷長貞	佐野栄二	岩原俊介	
坂野上啓	庭山六郎	山田陽一	安食恒昭	庭山暢彦	重野康人	松永宏五	杉本信昭	高橋毅	
千葉繁太	原英二	山吉一成	石黒恒	波田良治	滝沢猛	73回(7名)	高山佳郎	高橋毅	
村上安仁	藤田和夫	吉田陽吾	石田寛	早川周作	竹石肇	阿部裕	山口虎彦	高橋毅	
吉田和三部	伏見康	60回(28名)	石本悦夫	星満	田辺紀子	石川等	横山修	高橋毅	
52回(9名)	堀藤四郎	石黒忠士	植松敬	堀健次	寺尾正大	田辺研吉	84回(8名)	後藤徳広	
浅田稔	増田祐孝	市村哲	内山隆之	榊潤晴夫	長沼誠二	田巻裕	大須賀郷子	近藤壽邦	
浅水彪	松井昭五	岩田暁一	大高康夫	三國六朗	中村秀子	中野治	島津孝	斎藤治	
阿部穆	三崎正一	内山真一	小黒昌一	山根伸之	藤田伸二	南英雄			

感謝
56回学年幹事宗
村禎三氏のご尽
力により、57名
の会費をご入金
頂きました。

第37号
 発行日：平成17年5月20日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：山根 伸之(64回)
 振込先：
 みずほ信託銀行 本店
 普 4782496 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成 16 年度 東京青山同窓会総会 報告

平成 16 年 11 月 19 日(金) 於：東京全日空ホテル 池 一 (74回)

テナー・サクソに酔いしれる

晩秋とはいえまだ暖かさの残る11月19日、東京全日空ホテルにて、80余名の参加で、平成16年度の東京青山同窓会総会が開かれた。中越地震で交通事情が悪いなか、青山同窓会から石田瑞穂副会長、校内幹事の玉木正巳先生、そして小林崔学校長がお見えになり、ご挨拶いただき、参加者一同を感激させた。

若き学年幹事の小橋川嘉樹くん(107回)の司会のもと、栗林貞一会長(59回)の挨拶、日下部朋子事務局長(82回)の会務報告、山根伸之会計幹事(64回)の会計報告と、第1部の総会議事は順調に進み、会務報告、会計報告は拍手で承認された。

第2部は、東京青山同窓会総会恒例のア

トラクション。毎回、幹事会は企画を立てるのが大変であるが、最後には、「同窓会に人はいるもの」と実感させられる。今回は、「ジャズ・ナイト」と銘打って、テナー・サクソフォン奏者の音川英二さん(87回)のライブとなった。

音川さんは、高校時代は剣道部に所属する一方、ギターを弾く。学習院大学に進学後、同大学のスカイサウンズ・オーケストラでテナーサクソを手にしてメキメキ上達。ジャズ・ミュージシャンをめざし、大学を中退してボストンのパークリー音楽院へ留学した。

その夜は、バンド仲間のアコーディオン奏者、佐藤芳明さんとのデュエット。元ジョリー・チャップスの筆者としては、

めずらしい組合せに、心を躍らせる。

奏された曲は、チャプリンの不朽の名作『モダン・タイムス』のテーマ・ミュージック「スマイル」、新潟のイメージあふれる「砂浜で」、そして音川さん自作の「日本海の朝焼け」の三曲だった。とくに最後の「日本海の朝焼け」のジョン・コルトレーンを彷彿とさせるアドリブは、アコーディオンとの絡みもよく、冬の日本海を想わせ、ジャズと故郷との融合を堪能することができた。音川さんのグループがはじめてリリースしたCDアルバム『存在』のサインセールには、列ができるほどであった。CDの売上は音川さんの意志で、新潟中越地震への義捐金として全額寄付されたそうだ。

ジャズの余韻が残るなか、学年幹事の五十嵐悠介くん(107回)の司会で第3部の懇親会へ。乾杯の音頭は、東大法学部教授で学術会議会員、法制審議会委員をつとめる政治学者の猪口孝先生(70回)。あちこちのテーブルで、年代を超えた交流の花が咲く。校歌・応援歌合唱、閉会の挨拶と進んだが、その後も歓談はやまず、もう一度締め直して、2次会の会場『日本海庄や』赤坂店へ向かった。楽しい宴であった。(池 一・74回)



会長挨拶

栗林貞一(54回)

新人歓迎会だ！皆で集まろう



すがすがしい緑の季節となりました。同窓会の皆さんには、相変わらずお元気でご活躍のことと思います。新潟高校をこの春卒業して、勇躍東京で新しい生活の第一歩を踏み出す若者をわが東京青山

同窓会に迎える時期となりました。恒例の新人歓迎会・講演会は別項で案内していますが、今回も同窓生の楽しく、かつ有益なお話が聞けるものと期待しています。

新潟市はこの3月に大合併を成し遂げ、平河町の都市センター会館に東京事務所を開設しました。斎藤俊至所長(81回)はじめ皆さん平成19年の日本海側唯一の政令指定都市を目指して張り切っています。

J1昇格を叫び、応援してきたアルビレックス新潟が大活躍しています。地元新潟勢はこのように頑張っています。われわれも負けずに頑張らしましょう。

最近気になることがあります。それはこのところ総会や新人歓迎会の出席率がちょっと減少傾向にあることです。欠席者は本当にもったいない、素晴らしいチャンスをみすみす逃していると言ってしまうでしょう。わが東京青山同窓会の発展ということからも誠に残念です。今まで

も会報で、皆さん誘い合わせて出席しようという呼び掛けはしてきました。しかし所期の成果を上げているとは言い難い現状です。そこでお願いしたいと思えます。学年幹事の皆さん！あなた方がそれぞれの学年の中心となって下さい。案内を貰って億劫だと思わず、その心の壁を乗り越えれば楽しい世界が待っています。その証拠に(と言ってはどうかと思えますが)新人歓迎会も総会も、いつも二次会が大変に盛会です。言いたいことを言ったり、聞きたいことを聞いたり、それが楽しく役に立ちます。学年幹事の皆さんには別途個別にお願いするつもりです。

生まれ育った郷里を離れて、日本や世界に羽ばたこうと雄図を持って東京に出てきた若者を激励してあげるとともに、若き血を吸い取って、われわれ自身の今の若さも確かめ合うことといたしましょう。それでは6月17日にお会いします。

61期同期会 初代女子生徒も参加！

幹事：浅見昭夫(61回)

東京青山六一同期会・第27回の会合が平成16年6月5日(土)に東京全日空ホテルで開催されました。卒業25周年の昭和53年に第1回を開催してから27回目です。61期だから6月の第1週の土曜日にやろうと開催日を決めて続けてきました。

61期は今年(平成16年)が70歳の節目です。東京青山会の140名に案内を出したところ、120名から返信がありました。86%ととても高い返信率です。参加者は60名。大橋禎介先生・長谷川義明君はじめ新潟から7人。福島・仙台・岐阜・堺からも参加してくれました。

大橋先生からは永年の付き合いに対す

る感謝と61期の連帯と友情への賛辞を頂き、長谷川君からは新潟青山同窓会・会長就任と在任同期生の近況紹介報告がありました。私たちは新制高校第一期生ですから男女共学も初めて。7人の女生徒のうち現在は医師の浅間・伊藤氏からの挨拶などがあり、和やかな会合でした。長い年月を経て、初参加の人たちの喜びの挨拶も聞けました。最後は皆で腕を組み、新潟の江口君の音頭で校歌と応援歌の斉唱で幕を閉じました。

出席できない人の多くが体の不調を訴えておられたのは残念でしたが、是非回復して出席して貰いたいと願っています。返信を頂いたが欠席した人に、名簿その他の資料を会合の様子も伝えて送ったところ多くの感謝の手紙が寄せられ、来年こそはと言ってくれました。

高い返信率、出席率はわれわれが、高



校時代に尊敬する先生に恵まれ、素晴らしい多くの友人を、生涯の友として付き合うことができる喜びと感謝の表れだと思います。私たちも古希を迎えました。できればこの会を一年でも長く続けていきたいと思っています。



平成15年度決算報告および16年度予算

収入の部		単位千円	
費目	15年度決算	16年度予算	備考
前年度繰越金	2,025	2,179	
年会費	1,795	1,900	1000名
総会費	697	770	100名
新人歓迎会・講演会費	633	730	100名
協賛金	6	15	カード10件
本部補助金	500	500	
雑収入	0	6	
合計	5,656	6,100	

支出の部		単位千円	
費目	15年度決算	16年度予算	備考
総会費	860	1,000	
新人歓迎会・講演会費	836	1,000	
事務局費	92	130	
会議費	86	120	
通信費	732	800	
印刷費	818	1,400	会報2回発行
振替手数料	53	60	
次年度繰越金	2,179	1,590	合計
	5,656	6,100	

注:H15年度/15.10.1~16.9.30 H16年度/16.10.1~17.9.30

四万十川 100kmマラソン完走記

(2004.10.17) 吉岡利昭 68回

午前5:30、号砲が鳴り、ゆっくりとスタートした。周囲はまだまっ暗闇であるが、照明や松明(たいまつ)で明るい。この50m間隔で約1キロも続く松明は、この四万十川独特で、幻想的である。100キロの2/3は、四万十川を眺めながら木陰を走れること、応援が多く、また熱いことで、人気抜群のコース。

5キロを通過、29分26秒とまあまあペース。しかし、3週間前、自宅でテレビを見て起きて上がったとたん腰に激痛がはしった。最初の3日間は、歩くのも痛く、特に階段を下りる時は、両手で手すりをつかみ、蟹の横歩き状況だった。そんなことで、このレースに出場するのはあきらめていただけに、ことのほか嬉しい。

8キロ過ぎ、ゆるやかな上り坂が始まった。すでに明るくなり、川のせせらぎが聞こえてきた。ここから21キロの650mの山頂までは、木立の山道で、ひたすら上る。僕は、いつものとおり歩幅を小さくし、ゆっくり走っているのだが、他のランナーの荒い息づかいを耳にしなから次々と追い抜いた。

21キロ地点の650mの頂上でトイレ休憩。ここで思い出すのは、6年前の国際記念大会の時、外国女子選手2人が、ランナーが走っているすぐそば(1mくらい)の道端で、オシッコをしているのを目撃して、ビックリした。同じ光景は、40キロ、60キロ地点でも見かけたが、恐らく文化の違いか?

トイレを終えて、下り坂が続くが、次々と追い抜かれた。さらに、猛烈なスピードで追い抜いていく美女がいたので、思わず声をかけた。「そのスピードでは、

後半へバリますよ」と。全く余計なお邪魔虫なのだが、その美女は、スピードを緩めて、僕と並走しだした。僕が「12回目の100キロだ」と言うと、「歩かずに完走するためには、どうしたらいいですか?」との問いに、「前半は押さえ、特に下り坂は、足の負担の少ない小幅・ゆっくり走行が大切」、とアドバイスしたのだが、美女はその後どんどんスピードをあげ、見えなくなった。どうぞ、途中でツブレないように。

32キロに到着。やっと四万十川に對面し、気持ちホットする。36キロの“昭和大橋”や53キロの四万十川名物の“沈下橋”等計6~7本の橋で四万十川を渡り、素晴らしい景観を体全体で満喫できる。今日も、雲ひとつない好天に恵まれ、陽射しはきつい。4年前、直射日光によるやけどで水ぶくれだらけになった“サロマ湖100キロ”の経験もあり、昨日受付会場で買った、紫外線防止の長袖のシャツを着、首にはガーゼのタオルを巻いて、日焼け対策は万全。

40キロを通過。大型バスが2台停車し、その前に数十人の女性達が並んでいた。恐らくご自分の夫のための応援だろうが、何人かは、「吉岡さん、頑張って」と声援してくれたが、嬉しいし、元気ももらった。「出場者名簿」のゼッケンから、名前、年齢、出身がわかる。

50キロを通過。4時間52分と去年より7分早い。しかし、“半家(はげ)大橋”を渡り始めたところで突然右足のすねにケイレンが走った。さらに心配していた腰にも違和感があり、不安がよぎった。「先は長い。記録より完走」と自分にいい聞かせ、直ちに橋の手すりにつかまり、足

腰のストレッチを十分にした。今日の四万十川は、水量は多くはないが、澄み切っていて、川底がよく見える。この大橋を往復すると、すぐに第2の難関である急坂の180mの山上りが待ち構えていた。半分の方は歩いてしたが、僕はゆっくりだが、比較的楽に上れた。下りはさすがに足のふくらはぎと大腿前部が痛く、歩くがごとくソロリソロリと走った。62キロのカヌー館(大休憩所)。ストレッチの後、水、味噌汁、みかんの缶詰、おにぎり、バナナと無理やり詰め込んだ。そして、わずか4分の休息で戦線復帰した。

70キロ通過。足および腰にかなり疲労がでてきた。正午の零時半過ぎで、雲ひとつない青空で直射日光はますますきつい。汗もかくので、水分補給と梅干はしっかり口にした。そして、75キロからゴールまでは、5キロごとのエード(給水所)で、頭から氷水をひしゃくで2杯ずつかけてもらった後でストレッチ、を繰り返した。氷水が気持ちいいほど気温が高くなっている。

楽しみにしていた80キロのエード。食欲のないお腹に、ここには何と寿司があり、これなら食べれた。さ~元気をもらった。腰は重い、幸い腰痛はない。疲労で、沿道の応援に手を挙げるのがやっとなが、子供たちが期待しているので時々ハイタッチをする。もう周りの景色、四万十川の流れも楽しむ余裕はない。ただ前を見つめ、1キロごとに出てくる距離標識の数字が大きくなっていくのが、唯一の楽しみ。「あと〇〇キロだ!」と自分自身を励ましながら。

97キロ地点。並走するランナーの濃紺のウエアは、塩がこびりついている。顔もまた白い。ものすごい量の汗の結晶だ。ついに99キロ、最後の難関である80mの上り坂だ。足は棒で、必死に腕を振った。正に、腕で坂を上りきった。さ~、あとはゴールまで500mの下りだが、ふくらはぎの激痛で顔もゆがんだ。応援する人はさらに多くなった。帽子を被りなおし、格好よくVサインを決め、ニコッと笑ってゴールしよう。場内アナウンスに後押しされ、さらにスピードを上げた。ゴールイン。うれしい!そして、皆さん、有難う!

タイムは10時間20分。順位は、総合で1470人中155位でしたが、60歳代男子の部で、139人中3位。大きな大会で、初めて表彰台上り、感激でした。

写真は、今年3月の“荒川市民フルマラソン”で走り仲間14人と撮ったもの。前列右から2人目(NO.3905)が小生です。



『直木三十五入門』に寄せて

直木三十五記念館・開館協賛出版

植村鞘音(64回)

直木賞を知ってはいいても、直木三十五を知らない人は多いのではなからうか。

昭和の初期、直木三十五(本名植村宗一)は、文壇の寵児ともいべき流行作家であった。代表作の『南国太平記』をはじめ、700編近い小説・随筆・雑文などを書き残している。本格的に執筆を始めたのが大正13年33歳のとき、死んだのが昭和9年43歳なので、作家生活は実質10年しかない。

死後長谷川伸に「昭和畸人伝を編む人があれば、第一にあげなければならない希有な人物」といわせた破天荒な作家である。稀代の浪費家、稀代の借金王、稀代の女好き。稀代のプランメイカー。彼は成りゆきでやむを得ず作家になったが、もともとやりたかったのは、出版、画商、木材屋、鉱山などの事業である。

「兄は人々より何倍か鍛えのよい胸当てと鎖帷子とを着用していた。この器具を着けたとき打ち込む太刀は弾き返され、射放つ征矢は横に外れた。だが、その亡骸を改めて見て、その鎧の下にどれだけ傷つき易い神経があり、その胸当ての下にどれだけ柔らかい心臓があるか。そし

てその猿頬を脱がせて見て、兄の面差しはどれほど蒼ざめて憂鬱であるか。人々は誰も知らない」と、実弟清二は書いている。

私は清二の長男にあたる。幼い頃から長い間伯父似でとおってきた。私が伯父の伝記を書いてみたいと思い立ったのは、かれこれ半世紀も前のことである。昭和35年、直木が晩年「終の住処」として建てた神奈川県横浜市富岡の家の傍らに大佛次郎氏らの手で記念碑が建てられ、私はそこで初めて直木の別れた妻佛子寿満と愛人だった香西織恵に紹介された。この邂逅が、伝記執筆の直接の動機になっている。また、幼い頃から父に「おまえは直木の伯父さんそっくりだ」といわれ続けたことも、執筆の原点になっているのだろう。このたび、たくさんの方の好意と援助で直木三十五に関する二冊の本の出版が実現することになった。

一冊が私の著書で『直木三十五伝』。今年直木賞制定70年という節目の年にあたる。伝記は6月下旬、伯父と縁の深かった文藝春秋社から発刊される。2月には、生まれ育った郷里大阪の空堀に小さな記念館もオープンした。それを記念して、伝記とは別にもう一冊、大阪の新風書房から『直木三十五入門』が出版された。未

完の自伝「死までを語る」(第一部)と大阪のルポルタージュ「大阪を歩く」(第二部)が収録されている。第三部として私の書いた「若き日の直木三十五」も載っている。

これは文藝春秋社版『直木三十五伝』からはみ出したものであるが、あまり知られていない幼年時代のエピソードなどとりあげ、自分では、なかなか価値ある読物だと思っている。



新潟市東京事務所開設のご案内

斎藤俊至(81回)

新潟市は、平成19年4月の政令指定都市移行に向けた情報の収集や発信、そして「食と花の新潟」を全国に売り出していく際の首都圏における拠点として、東京事務所を開設しました。事務所は千代田区平河町にあり、新潟市の観光パンフレットやガイドブックなどを備えてあるほか、同窓会の幹事打ち合わせなどにもお使いいただける会議室もあります。既に、うわさを聞きつけた某高校や某中学校の同窓会幹事会にご利用いただきました。お近くにおいでの際は機会がございましたら、気軽にお立ち寄りください。

また、首都圏在住の市出身者などの皆さんから新潟市の素晴らしい魅力を大いに堪能し、かつ吹聴していただくことを目的として、「新潟市サポーターズ倶

楽部」の会員を現在募集中です。是非多くの皆さんからご参加いただき、ふるさと新潟にお力をお貸しください。入会金、年会費など全く必要ありません。お誘い合わせの上ご登録下さい。

■新潟市サポーターズクラブ申し込み先■
【新潟市東京事務所】
102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
日本都市センター会館9階
電話03-5216-5133 FAX03-5216-5134

E-mail:office.tokyo@city.niigata.lg.jp
所長：斎藤俊至(81回)
または新潟市のHPでもお申し込みいただけます。
http://www.city.niigata.niigata.jp/info/office_tokyo/supporter.html

秋のゴルフ大会のお知らせ <参加者募集中!!>

東京青山同窓会では昨年秋より「玲瓏会」(栗林会長命名)ゴルフ大会を始めました。

第2回大会は去る5月13日に埼玉県の大蔵丘ゴルフコースで行われ、先輩後輩入り混じって一日楽しくプレーしました。

当日の写真、優勝者の挨拶等は会報の原稿締切の都合で間に合いませんでしたので次の会報でお知らせします。

ここで次の「玲瓏会」ゴルフ開催の案内をお伝えします。より多くの方々への参加を願っておりますので今からスケジュール表に[G]マークを書き込んで日程の確保をお願いします。

人数が充分であれば卒業年度別コンペ等も考えてみたいと思っております。春は埼

玉県で行いましたので秋は湘南地区で以下のように計画しました。

.....

日時：平成17年9月29日(木)

9:30スタート

場所：平塚富士見カントリークラブ

平塚コース(カート付き)

(神奈川県 中井町)

尚、参加の申し込み、交通手段、地図等詳細に付いては追ってご連絡を差し上げます。ゴルフ大会事務局で判明しているゴルフ愛好者の方にはご連絡致します。

第1、2回の大会に参加されなかった方々への呼びかけをお願い致します。

また組み合わせや運営方法などについて

ご意見がありましたらお知らせ下さい。お待ちしております。

.....

連絡先

村山 健 (61回)

Tel.&Fax. 045-573-2362

村山隆男 (68回)

E-Mail mmkt-ra@tf7.so-net.ne.jp

以上

訂正とお詫び

前号(36号/P5)の玲瓏会ゴルフの記事中において「木村昇(61回)は在郷ゴルフ軍団のチャンプ。」は、「木村昇(61回)は在京ゴルフ軍団のチャンプ。」、また「まとめ役の村山健、安宅久憲、徳田晋也が初代チャンプ…」は、「まとめ役の村山健、安宅久憲、徳田晋也らの61期は、竹尾昇が初代チャンプ…」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

台湾新幹線プロジェクト

山崎 久孝(74回)

台湾新幹線プロジェクトで今年もまた台湾で歳を越すこととなります。新幹線が動き出すまでは、まだまだ日本には戻れません。新幹線建設はあまりなじみの無い建設現場と思い御挨拶代わりに写真をお送りいたします。

台南市の在来線の駅と運河縁に立つ新幹線事務所のある建物と私の住居のアパートの写真もお送りしました。青い楕円筒形の建物の3階が台湾新幹線台南事務所で、左に見える歩いて3分の三角頭の三塔の建物の中央5階が私の部屋です。

台南は明朝時代からの歴史を誇る台湾

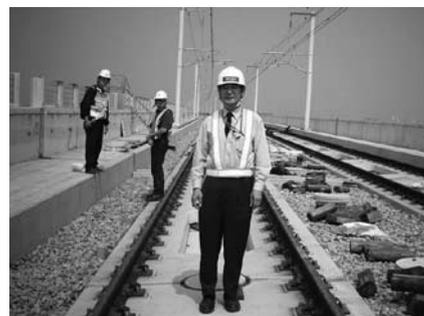
では一番古い町で台湾の京都と呼ばれていますが、京都のひとが見たらがっかりするでしょう。

ここ台南から台北、桃園、台中、嘉義、高雄と飛び回ること2年、もうすぐ南の高雄の70KM区間で新幹線車両の試験走行が始まります。(以上2004/11月記)

(以下2005/5月記)現在、Projectは台風災害、地盤沈下等で予定より大分遅れています。3月末にやっと時速120kmの速度向上試験が終わった段階で、9月末までに時速300kmの速度向上試験を成功させようと日独英共同チームで努力している毎

日です。

台湾で県高の卒業生が台湾新幹線の建設に参加していることを同窓の皆様にお伝えしていただき、中国問題で揺れ動く世界情勢の昨今、皆様の台湾への関心がより身近なものになれば幸いです。



事務局より 同窓会年会費自動引き落とし「終了」のご案内

同窓会カードをお持ちの方へ 当同窓会では、同窓会カードによる年会費の「口座引き落とし」のシステムを導入しておりましたが、提携先のGEコンシューマーファイナンス(株)の経営方針の転換に伴い、平成17年4月末日をもって当該システムを終了することになりました。

来期以降について 同窓会カードをお持ちの皆様には大変お手数ですが、来期平成17年度分(H17/10/1~H18/9/30)からの同窓会年会費につきましては規定の銀行口座か、郵便振替をご利用の上お振り込みくださいますようお願い申し上げます。

注：本年度分(H16年度= H16/10/1~H17/9/30)につきましては、昨年11月に引き落としが完了しております。

カードの取り扱いについて 同窓会の年会費の引き落としは停止になりますが、一般のキャッシングカードとしては引き続きお使いいただけます。また解約のご希望など詳細はGEコンシューマーファイナンス(株)・カスタマーセンター<Tel.03-5949-1152>へお問い合わせ下さい。

一筆啓上

～ H16年度の総会への出欠はがきと会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。～

32回・曾我 英彦
99年になりました。只今入院中、御盛会を願って居ります。皆様によりしく。(後記に追記あり)

37回・五百川豊吉(長男代筆)
地震御見舞申上げます。誠に残念乍ら、父豊吉は16年春93才で亡くなりました。最後迄穏やかな一生でした。生前お世話に成りました。

40回・小山 賢市
残念ながら現在、在宅リハビリ中のため出席できません。同窓の皆様、御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げます。

40回・高田 信川
家人入院中にて長続きしそうです。毎日病院へ行くので欠席します。

41回・五十嵐 富郎
来年3月に米寿となる高齢ゆえ、また学友との交流も叶わず、今迄青山同窓会本部ともども会費を納入しておりましたが、やはり東京青山同窓会のみにするようにしました。

41回・伊藤 一雄
元気に過ごしています。近くの健康文化センターへ開募うちに出席することが多いです。

42回・塩谷 正雄
拝啓、皆様方のご清栄のこととお喜び申し上げます。私は東京青山同窓会と長年の間おつき合ひしておりましたが、歳と共にあちこちと体に病変が生じ、眼も視力が落ち、足も弱くなり、新聞も読めず外出も思うままにいかなくなりました。今般思うところがあり、身辺整理にとりかかり、青山同窓会は新潟だけにして東京のほうは退会したいと思います。(平成16年10月25日)

46回・高島 良郎
高齢者となり、出席しても同僚もいなくなり、必要のない会となりまして、ここで退会させていただきます。遅くなりすみませんでした。

46回・山田 市男(妻代筆)
夫山田市男は9月23日逝去致しました。生前のみなさまのご交誼を感謝致します。

49回・赤松 元敏 病氣養生中。

49回・白川 保
日々元気で過ごしておりますので他事乍らご体心下さい。

49回・濱 博世
元気が、今回は所用のため出席できません。

50回・寺田 秀夫 元気で診療や執筆、講演などをつづけています。

52回・渡辺 達郎
一日一日を大切にしましょう。人生は白駒の隙を過ぐるが如し。

53回・高田 鴻一(妻代筆)
長い間有り難うございました。故人も剣道には愛着が深くございました。法名にも武道と致しまして武の一字を入れて頂きました。

53回・佐藤 修二
胃痛の為、胃全摘手術を受け体調よくなく、すべての会合は遠慮しています。退会を希望します。

56回・阿部 弘昭
回答が遅れてすみません。ご盛会をお祈り申し上げます。

56回・飯島 昌彌
9月に新潟での56期会に何十年ぶりか出席。旧友と懐かしい交感を楽しんで来ました。その後中越地震、被災者に心を痛めています。

56回・永井 喜八郎
いつも会報をお送り頂きましてありがとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

56回・松井 昭五
東京青山同窓会の益々のご発展たのもいことです。

56回・菅川 正男
老年痴呆の患者、家族相談、介護福祉師の教育実習などを担当し、結構仕事に追われる日々です。

58回・片桐 欣哉
新潟の地震、皆様もご心配のことと思います。

58回・片桐 啓三
雑誌サライに2頁にわたって紹介され、毎日忙しく治療しています。真野響子さんの弟が弟子なので一家で来ています。(指圧はり師院)

58回・佐藤 隆
今年相応な健康状態です。58回東京玲瓏会は10月22日に開催され、出席し旧交を温めました。御盛会を御祈り申し上げます。

58回・田中 浩次
残念ですが出席できません。お返事が遅れて申し訳ありませんでした。

58回・宗村 泰四郎
投函が遅れ申し訳ありません。ご盛会をお祈りいたします。

58回・毛利 剛 何とか元気で暮らしています。

59回・安宅 久朋
今度の郷土の大震災にはとても心配しています。一日も早い復興を心より願っております。

59回・坂井 裕
この次は、この次こそと思いながら欠席ばかり。でも...またそう思っています。

59回・牛木 素吉郎 関西に勤めて12年目です。新幹線往復業です。

59回・小池 和男 幹事の方々には特に御世話になり感謝!

59回・長橋 敏雄
お蔭様にて元気に暮らしております。小千谷には新潟高校に赴任する前に住んでいた所なので昨夜の地震に驚いております。

59回・花井 進
相変らず土日は少年サッカーの指導で汗を流しています。

59回・藤原 幸雄
両足裏のシビレや々快方ですが、良く判明せず。新潟地震に対し、毎日新聞を通し、些少ながら送金しました。諸兄のご健勝を祈念いたします。

60回・石黒 忠士
仕事の手都合で、残念ですが出席できません。ご盛会を祈ります。

60回・市村 哲
残念ながら出席できません。8月23日に脳梗塞になり、90%程度回復しております。皆様によりしく。

60回・矢川和博
一寸、脳梗塞気味なので、あと1年は酒席に参加することを控えています。日常は元気です。大雨に続いて大地震によるふるさとの惨状をTVで見るにつけ心が痛みます。

61回・柿下 昌允
歳相応(医者曰く)の故障が発生し、無理は一切しないことに心がけてます。大体は元気な姿でおります。

61回・金子 章
大変申し訳ありません。当日、かねてからの地方での行事があり止むなく今回は欠席とさせていただきます。[玲瓏会]では大変ご配慮ありがとうございます。明年5月頃第二回を計画しております。又よろしくお願ひ申し上げます。

61回・小池 弘
現在満70才、無職、妻、次女と3人暮らし、体調不良です。

62回・佐藤 勝彦
'04年新潟中越地震は将に驚きでした。直下型ということもあり、少し離れた新潟。その周辺での大きな被害はなかったようで先ずは一安心致しました。とはいへ会員の中には親族が手痛む被害をこうもつたという方もおられることでしょうか。心からお見舞い申し上げます。総会の方は今回も失礼させていただきます。ご盛会の皆様によりしくお伝え下さい。

62回・帆刈 宏典
各位様のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

64回・川崎 明
急な出張で欠席です。多分10年振り位の欠席で残念です。同期会は来年も開く予定です。

64回・桑野 光雄
11/14~19三日目のバンコック旅行のため欠席します。次回は是非!

64回・坂井 敬
来年の東京同窓会の打合せもいたしたく、皆様との再会を楽しみにしております。

64回・佐藤 章
ご案内を頂きありがとうございます。グループの沖縄旅行と重なりました。ご盛会をお祈り申し上げます。

64回・嶋岡 元氣にしております。

64回・清水 良男
いつも御案内をいただき恐縮です。89才になる母の介護で故里に帰っており、今年も残念ですが欠席させていただきます。皆様にくれぐれもよろしく。

64回・田中 邦彦
豪雨にも台風にも地震にも会わず「おら、わーりて!」の感じ。無駄な公共事業も一因か。

64回・津野 慶浩
当日は大学のゼミの同期生のゴルフ会が平塚富士見CCであり、申し訳ありませんが欠席します。お集まりの方々によりしくお伝え下さい。

64回・中谷 光隆
2004年10月23日の新潟県・中越大地震において亡くなられた方の冥福をお祈りし、被害にあつた方にお見舞い申し上げます。

64回・庭山 暢彦 ご盛会をお祈りいたします。

64回・平林 伸一
同窓会の開催、大変ご苦労様です。私は平成7年に神戸から横浜へ戻りまして今日まで残念ながら一回も出席していません。東横沿線に住んでおり、足の便も良いのですが、いつも都合がつかず欠席しております。今年は、都合で横浜の家を次男に渡し、長男と建てた大阪に移住したもので出席できません。しかし、春から秋にかけて信州塩尻にて、花や果実(ランダーやブルーベリー、リンゴ等)を栽培して近所の方々へあげたりして楽しんでいます。そろそろ冬支度に掛かり始め、来月には大阪へ戻ろうとしております。なお、近くに諏訪大社があり、古代日本史に興味を持ち、神話の世界に入って古事記や竹内文書等にのり込んでおります。この度の地震には大変同情申し上げます。私も、新潟地震の後遺症で母親を亡くし、また平成7年の阪神淡路震災にも合い、建物の部分損壊等の苦しみも一倍体験しております。

64回・藤森 曜啓
同窓会行事等に参加できない状況ですので、今後資料等の送付はお控え下さるようお願い致します。

65回・五十嵐 敏
今月、「改訂マシオン登記法」を刊行しました(日本除出版 3,885円)。全くの専門書ですが。

65回・横山 修二
いつも「東京会報」に、この欄のコメントを掲載頂き、次回こそは、本人が出席せねばと思いつく、この度も先約があり、連々続の欠席となります。失礼の段重々お詫言致しますと共に幹事各氏のご苦勞に感謝しつつ、当日のご盛会を心より祈念申し上げます。

65回・吉田 治彦
最近はやの会合が疲れるので失礼させていただきます。

65回・山崎 耕一
新潟に移動しましたので、東京の方は脱会したいと思います。自動振替も出来ないのではないかと思います。了解下さい。

66回・川原 英夫 幹事、会計ご苦労様です。

66回・二宮 晴彦 昨年から監査役となり、法律等勉強中です。

67回・柳 肇 残念ながら欠席です。

67回・石田 瑞穂
今回は所用重なり失礼します。来春には仙台で東北支部を開催(立ち上げ)します。日時は決定次第連絡致します。

67回・神田 昭記
「日々是好日」をもっとうに私に毎日を送っています。

67回・佐々木 邦夫 退職し、年金生活です。

67回・三堀 浩 ご盛会を祈ります。

68回・中村 秀子
H.17年3月で退職します。住所が決まりましたら、連絡します。

68回・渡邊 公夫
新潟中越地震の被害者の皆様には心からお見舞い申し上げます。家族全員が健康に暮らしていることの幸せを改めて感じている今日この頃です。

69回・岡田 尚子
いつも御連絡ありがとうございます。"玲瓏会ゴルフ"次回は69回の仲間を誘って参加したいと思っています。

69回・佐藤 孝晴
東京会報がだんだん充実してきたように感じられ、親近感をもって読んでいます。事務局の皆様有難うございます。

69回・七里 紀善 留守中です。申し訳ありません。

70回・岩城 忠之
還暦を迎え、料理道にいつそうの磨きをかけています。

70回・鈴木 正俊
還暦を過ぎましたが、現役で働いています。当日は年1回のイラク勤務時代の会と重なりまして欠席します。今回の地震で被害は妻の実家で最小限で済み安堵しています。(長岡市内)

71回・柄沢 卓
関中同期の「還暦を祝う会」で若い血が燃えました。

71回・中村 英一
東京青山会を通じて年次をこえたお付き合いを頂戴しています。すばらしい会です。各位のご健勝を祈念いたします。

71回・森田 琢夫
東京青山同窓会・総会欠席いたします。新潟中越地震には40年前を思い出して心労いばかりかかると感じております。皆さんには歯を食いしばって立ち直って頂くことを願うのみです。さ、やかながら義援金を送らせていただきました。参加の皆様によりしくお伝え下さい。[震災や 天地は不仁 みぞれ雨]

72回・大野 博
4年間の地方勤務を終え、7月より自宅から新橋に通動しています。

72回・齋藤 俊正
残念ながら当日、業務の為、出席出来ません。総会の盛会を期待しておりますとともに、参加された同期の方々によりしくお伝え下さい。

72回・太刀川 圭一
当日予定があり、出席出来ません。盛会をお祈り致します。

72回・松永 宏五
勤務先の終業時間の関係で出席出来ません。盛会を祈念しています。

73回・渡辺 忠明
来年8月一杯で、今の会社をリストラされます。資格として技術士建設部門、環境部門を有しておりますが、宮内庁庭園課長、富士急取組役(現任)とマネージメント一般もやっています。どなたか私を救済してくださいませんか。

74回・青海 潔 会費は2-3年まとめて払うことにしています。

74回・和泉 潤
残念ながら南京工業大学で講義中であり、欠席となります。皆様によりしくお伝え下さい。

74回・岩城 修平
西部石油(株)の常務に就任しました。昭和シェル石油の石油精製会社で資本金80億、売上2300億円ですが山口県小野田市に在籍しています。

74回・糴谷 好邦
新潟地震の際は 72時間不眠不休での アマチュア無線による非常通信で頑張る 表彰状までいただきましたが 今回の災害に関しては 義援金を送ることのみ。不甲斐ないことですが 体が衰え歳を感じます。さて、総会ですが 社用にて 参加の時間がとれませんので やむなく欠席いたします。参加の皆様によりしくお伝え下さい。

74回・加門 文隆
医療学校の設計のためモンペックへ出張しています。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

75回・木戸 亨 10月から東京へ異動になりました。

75回・野崎 茂
H16年度会費を茲許納致します。事務局の皆様ご苦労様。

75回・橋爪 博美 まだ一回も出席していません。還暦迄の目標。

75回・山崎 信行
新潟中越地震のお見舞い申し上げます。募金をされるようでしたらご一報下さい。

76回・柴田 明雄(妻代筆)
平成16年6月24日に逝去いたしました。何回か同窓会へ参加し、楽しい宴会だったことや同期の皆様のご活躍を話しておりました。6月22日に入院し、肝臓・肺臓で24日に昇天してしまいました。母親から感染を受けていた体質があった為に、年に4回、6年の検診を受けていたにもかかわらず痛みを見つづけておらず、あと3ヶ月と言われたのに3週間でごくなくなってしまいました。あまりにも突然の出来事で悔み切れません。昨年コロナ肺炎で日本校でティーチャーズカレッジの勉強が終了し、2人でニュークールの本校へ行き盛大な式典に参加できたことが良い思い出となりました。退職後はオーストラリアで鍼灸を施したいと考えており、夜間の鍼灸学院で通学を始めたばかりで挫折してしまいました。皆様、夫のようにならないよう同窓の名医さんにかかられるようお願いいたします。夫はICU在学中にオーストラリア45日間のホームステイ旅行をし、昭和50年2月'51年9月にオーストラリア州で日本語の教員をした時、バースの教会で洗礼を受けていました。11月10~18日息子と2人で夫が行っていたセント・コロンバ教会を訪問します。

77回・片山 等 盛会を祈念いたします。

81回・佐藤 浩秋 いつもご苦労様です。

82回・小亦 斉
御苦勞様です。残念ながら当日は公式行事があったため、総会には参加できません。皆様によりしくお伝え下さい。

83回・杉本 信昭
年会費のカードからの引き落としを中止し、振り込みに変更をお願いいたします。

85回・葦名 淑子 ご盛会をお祈りいたします。

85回・森大輔 転居しました。住所変更をお願い申し上げます。

86回・田中 利直
平日新潟、週末東京の二重生活を始めて5年が経ちました。最近首都圏での仕事が増えてきました。

87回・清水 忠明
今年10月初頭に視神経炎のため新潟大野病院へ入院しました。奇遇なこと、私を担当してくれたのが青山同期生の高木君で、彼のおかげで完治いたしました。現在新潟在住で、交通が不便になっており、欠席いたします。

87回・田中 隆 今年も宜しくお祈りいたします。

平成17年 新人歓迎会・講演会のご案内

日時

平成17年6月17日(金)
受付開始：午後6：00
開会：午後6：30

会費

一般：8000円
女性：6000円
大学生：3000円
新人(113回生)：2000円

会場

東京全日空ホテル
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

◇新人歓迎会◇

長谷川義明会長はじめ、
旧3年の担任教諭がご出席予定です。

◇講演会◇

テーマ：国際社会と日本
講師：松井啓

◇懇親会◇

着席buffet

講師紹介

松井 啓(まついあきら・67回) 杏林大学総合政策学部客員教授

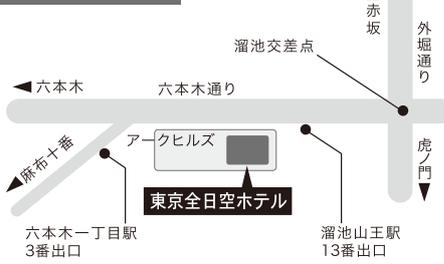


【略歴】

1941年 長岡市生まれ
1959年 新潟県立新潟高校卒
1965年 一橋大学法学部卒業後外務省入省。以後、ロシア、イギリスでの研修を経て、本省を含みソ連・フィリピン・ユーゴスラヴィア各国で大使館に勤務し、インド・イタリアでは大使館公使、カザフスタン・ブルガリア・ナイジェリアにおいて特命全権大使を歴任の後、2004年3月外務省を退官。2005年4月より現職。

新潟から外務省に入って、海外10ヶ国を廻っている間の生身の経験と、その間に外国から日本を見る目がどのように変わってきたかをお話の予定です。堅苦しいテーマから少々外れるかも知れないとのことですので、お楽しみに。(編)

会場案内図



**113回生・新人の皆さん
お待ちしております!!**

最寄り駅

銀座線・南北線【溜池山王駅・13番出口】
南北線【六本木一丁目駅3番出口】

路線バス

都01系統/新橋駅~渋谷駅
【赤坂アークヒルズ前】下車

一筆啓上

90回・山岸(阿部)美佳

11月19日は先約が以前からあり、出席できそうにありません。すみません。震災のことは気になっており、自分にできること募金等ですが、しています。同窓会にもいつか出席したいと思っておりますが、なかなか出席できません。盛会となりますようお祈りしております。

91回・諸橋良哉

当日は業務の都合で出席できません。なかなか出席出来なくて申し訳ございません。当社(清水建設)には新潟高校OBが30人以上おられて、定期的に同窓会を行っております。名前は「清水やめろてば会」といいます。ご盛會をお祈り申し上げます。

92回・永見優子

本人娘は現在アメリカにいます。平成17年9月に帰って来る予定です。本人に代わって母が代筆致しました。

102回・池田哲郎

2級ファイナンシャル・プランニング技能士、日本CFO協会ジェネラルCFO、合格しました。

105回・井上梨恵子

先月より新しい職場で働いています。ご盛會をお祈り申し上げます。

107回・山本貴美子

今回が最後の出席になるかもしれませんので、ぜひ参加したいと思っております。(就職で首都圏を一時離れるため)

107回・宮島望

返信が遅くなりまして申し訳ありません。7月に引越しました。

108回・吉田(安藤)まわら

2年半のアメリカ留学を終え、無事日本に帰国しました。4月より東京大学公共政策大学院に進学予定です。また、東京青山同窓会に参加できたらと思っております。

110回・山口光太

中越地震は大変な状況になってしまいましたね。みなさまのご無事をお祈りしますとともに、一日も早い復興を願っております。

111回・西田良一

11月19日は奨学金の集まりがあり、どうしても行けません。申し訳ありません。よろしく申し上げます。

111回・本間香代

今年成人式を迎えます。新潟で3-1のメンバーで集まろうと思っています。

112回・安藤透

外国語の準備及び東京新大学野球リーグ昇格戦のため欠席します。狛江市から調布市に引越しました。

112回・吉田丈夫

青山がかつて秀才凡人 これで終わるか 否 丈夫ぞ。

以上

偶数月第二火曜日の会

平成17年度の予定
6/14・10/11・12/13(兼忘年会)

毎回定時 19時より
日本海庄や(赤坂店)
港区赤坂 3-13-7
Tel:03-3586-5003

場所も時間も固定です。
ご自由にご参加ください。

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思の方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、連絡先を書き添えて事務局宛 FAX.をお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (日下部・82回)

- 住所リスト 1学年 / 3000円
- 宛名ラベル 1学年 / 4000円

■ 訃報 ■

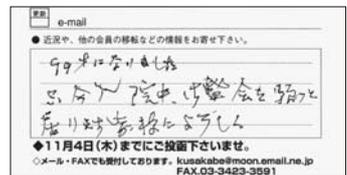
今期事務局にお知らせいただいた方々です。

- 曾我 英彦 (32回・H17/4/25)
- 林 保 (34回・H1)
- 五百川 豊吉 (37回・H16春)
- 田中正吾 (42回・H15)
- 竹石 眞久 (43回・H16/2)
- 山田市男 (46回・H16/9/23)
- 西岡 幸泰 (56回)
- 路谷 硯児 (56回)
- 関根 俊太郎 (58回・H5)
- 岩永 伸一 (59回・H16/3)
- 岩永 敏隆 (68回・H11)
- 柴田 明雄 (76回・H16/6/24)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

後記

東京青山同窓会と通信をお持ちの中で最高齢であった曾我英彦氏(32回・H17/4/25逝去・享年99才)が天寿を全うされました。作家坂口安吾氏と同級であったことなどお話を聞きしたいと思ひ、編集部でインタビューに何う計画中でしたがかないませんでした。洋画家としてご活躍され、昨年の一筆啓上にもお便りを下さいましたが、絶筆となってしまいました。偉大な先輩に敬意を表しつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(編)



平成16年総会の欠けはがきに頂いた直筆の近況です。